



スパークス・M&S・ジャパン・ファンド

愛称:華咲く中小型

マンスリーレポート
基準日 平成23年12月30日

【運用実績】

過去のパフォーマンス (%)	直近の分配実績 (円)		
	ファンド	ベンチマーク	
過去1週間	1.08	0.85	
過去1ヵ月間	-0.28	0.54	
過去3ヵ月間	-6.01	-5.09	
過去6ヵ月間	-8.48	-11.00	
過去1年間	-2.73	-12.81	
過去3年間	19.96	-2.29	
設定来	-45.85	-47.81	
		設定来累計	0

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りは異なります。

【信託財産構成比(%)】

株式	96.3
現金・その他	3.7

※比率は対純資産

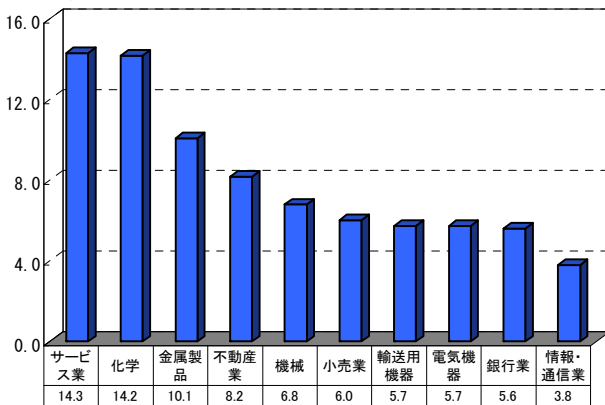
(銘柄総数 42銘柄)

【市場別構成比(%)】

東証1部	82.7
東証2部	6.5
ジャスダック	1.2
マザーズ	0.0
その他市場	5.9
株式組入比率	96.3

※比率は対純資産

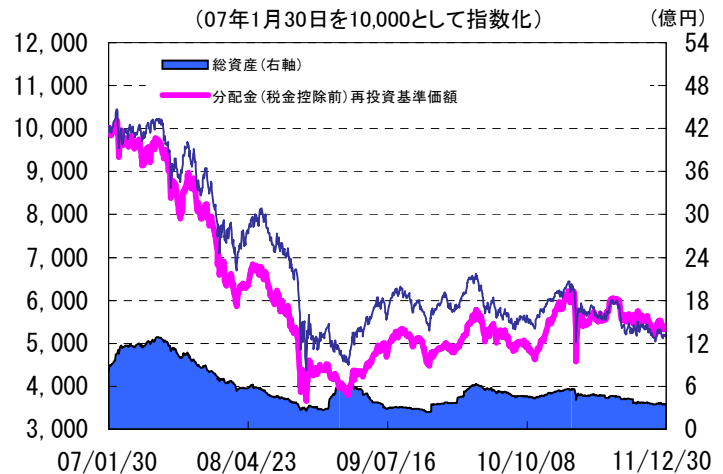
【業種別構成比 上位10業種(%)】



※比率は対純資産

【基準価額および純資産総額の推移】

基準価額	解約価額	純資産総額
5,415円	5,399円	3.56億円



※過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※基準価額は、信託報酬等控除後です。

【組入株式上位10銘柄(%)】

銘柄	市場	業種	比率
エス・エム・エス	東1	サービス業	5.87
積水化成成品工業	東1	化学	5.11
アコーディア・ゴルフ	東1	サービス業	4.40
三和ホールディングス	東1	金属製品	4.06
アスクル	東1	小売業	3.76
三櫻工業	東1	輸送用機器	3.63
栃木銀行	東1	銀行業	3.53
ダイソー	大1	化学	3.49
セイコーホールディングス	東1	精密機器	3.48
トーセイ	東1	不動産業	3.31

※略称は下記の取引市場を指します。 ※比率は対純資産

東1: 東証1部、東2: 東証2部、東M: 東証マザーズ、
大1: 大証1部、大2: 大証2部、JQ: JASDAQ、HC: ヘラクレス

※上記記載のうち、運用実績、基準価額および純資産総額の推移以外は当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。

12月の日本株式市場は、前半は欧州債務問題解決のための主要国の中央銀行によるドル資金供給拡充の合意を受けて比較的堅調に推移しておりましたが、格付付機関による欧州各国の格下げ懸念や欧州域内で欧州中央銀行(ECB)がより積極的な行動を起こさないうという失望感から再び下落いたしました。月後半は、好調な米国経済指標や新年への期待、割安株物色の流れなどから反転しました。

結果として、前月末比でTOPIXは0.02%とわずかに上昇した一方で、当ファンドのベンチマークは0.54%の上昇、割安株物色が中小型株のパフォーマンスにプラスに貢献いたしました。当ファンドのパフォーマンスは、前月末比0.28%の下落と、ベンチマークを下回りました。

当ファンドにおいては、アルファシステムズ、DIC、日本精機などが主にプラスに貢献しました。アルファシステムズはスマートフォン利用者の増加や携帯電話の次世代規格であるLTE対応端末の普及によって通信関連システムの開発投資が回復すると期待されたことにより、DICは2012年3月期業績における会社計画は達成可能との見方を一部証券会社が示したことにより、日本精機は先月までの株価下落の反動により、株価が上昇したと考えております。

一方でエス・エム・エス、アコーディア・ゴルフ、エス・バイ・エルなどがマイナスに影響しました。このうち、エス・エム・エスについては、東証一部への指定が発表されたことで先月株価が上昇していた反動により下落したと考えております。

12月の売買行動としては、下落局面において株価が相対的に堅調であった銘柄や、中長期的な成長性に見劣りが生じた銘柄を売却し、割安感の強まった既保有銘柄を積極的に買い増しました。一方で、直近の業績は厳しいものの、中古車市場の底打ちと、過去数年間取り組んできた新規事業の拡大により利益成長が期待できる中古車買取・販売会社に新規投資を行いました。

欧州を中心とする政府債務問題は継続すると考えられますが、中国などの新興国では金融緩和策の実施が期待されます。日本においても政府債務削減問題が重石となることと想定されますが、震災、タイの洪水、円高という苦難からの脱却にむけて、積極的な施策をとった企業にとっては、その効果が期待できる年になると考えております。したがって、日本株式市場は回復する企業業績を反映して好調に推移するのではないかと考えております。投資戦略としては、昨年からの経営戦略の優劣が同業種内の収益格差を拡大させることが予想され、個別企業分析をベースとした選別投資を強化いたします。業種としては、震災によるマイナス影響が大きかった自動車、電機関連に引き続き注目しつつも、復興関連の住宅、建設などの内需関連銘柄や割安に放置された超小型株など、幅広く調査し投資機会を探ってまいりたいと考えております。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等に関するコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・M&S・ジャパン・ファンド

愛称：華咲く中小型

マンスリーレポート

ファンドの特色

1. 主として、日本の上場株式のうち中小型株式を中心に投資します。
 - ・中小型株式は銘柄数が豊富であり、また高い成長が期待できる企業が多く存在します。
 - ・当ファンドはファミリーファンド方式※により運用を行います。
※ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドに投資して実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。
2. スパークスの徹底したボトム・アップ・アプローチで銘柄を選別します。
 - ・中小型株式の調査は1989年のスパークス創業時から行っております。
3. ベンチマークであるラッセル/ノムラ・ミッド・スモール・キャップ指数(配当込み)を上回る投資成果を目指して運用します。
 - ・ただし、ベンチマークの業種構成比等にはとらわれません。

投資リスクについて

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資等を通じて、株式および公社債などの値動きのある有価証券に投資し、有価証券先物取引などを活用することがありますので、基準価額は大きく変動します。従って、金融機関の預金と異なり、投資元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。

主なリスクとしては、下記のもの挙げられます。(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

(1) 株式投資リスク

当ファンドは、日本の株式を主要な投資対象としますので、当ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等の様々なリスクが伴うこととなります。当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

(2) 中小型株式等への投資リスク

当ファンドは、中小型株式等へも投資します。これらの株式は一般的に株式時価総額が小さく、流動性が低いいため、流動性の高い株式に比べ、市況によっては大幅な安値で売却を余儀なくされる可能性があることから、より大きなリスクを伴います。

(3) 派生商品取引のリスク

当ファンドは先物取引などの派生商品に投資することがあります。これらの運用手法は、価格変動リスクを回避する目的等で用いられることがありますが、実際の価格変動が委託会社の見通しと異なった場合に当ファンドが損失を被るリスクを伴います。

(4) 一部解約による資金流出等に伴うリスク

大量の解約があった場合、保有有価証券を売却しなければならないことがあります。その際には市場動向や取引量等の状況によって、基準価額が大きく変動することがあります。なお、同じマザーファンドに投資するベビーファンドの資金流入の影響を受ける場合があります。

(5) 運用制限に伴うリスク

当ファンドの運用は、規制上または社内方針等により売買を制限されることがあります。したがって、これらにより当ファンドの運用実績に影響が及ぶ可能性があります。

(6) 信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることもあり、また、投資資金を回収できなくなることもあります。これらは基準価額が下落する要因となります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・M&S・ジャパン・ファンド

愛称:華咲く中小型

マンスリーレポート

お申込メモ (お申込の際には投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

ファンド名	スパークス・M&S・ジャパン・ファンド (愛称:華咲く中小型)
商品分類	追加型投信/国内/株式
信託期間	平成19年1月31日から平成29年1月25日
繰上償還	残高口数が20億口を下回るようになった場合などには約款所定の手続きを経たうえで、信託期間の途中で信託を終了(繰上償還)させていただくことがあります。また、委託会社は信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めるときには、受託会社と協議の上、信託期間を延長することができます。
決算日	毎年1月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	原則として毎決算時にファンドの基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。販売会社で毎営業日お申込いただけます。原則として、お申込時間は、午後3時までです。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
お申込時間	お申込単位は、販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
お申込単位	お申込受付日の基準価額
お申込価額	解約単位は、販売会社が別途定める単位とします。お申込時間は、午後3時までです。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
解約のご請求	※1顧客1日当たりの解約の金額に制限を設ける場合や一定の金額を超える解約の請求の受付時間に制限を設ける場合があります。わが国の金融商品取引所における取引の停止その他やむを得ない事情があるときには、解約請求の受付を中止させていただく場合があります。
解約価額	解約請求受付日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
解約代金の受渡日	解約請求受付日から起算して5営業日目からお支払い致します。

お客様にご負担いただく手数料等について

* 下記手数料等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

【お申込時】

■お申込手数料

3.15%(税抜3%)を上限として、販売会社が定める率をお申込受付日の基準価額に乗じた金額

【ご解約時】

■信託財産留保額

解約請求受付日の基準価額に0.3%の率を乗じた金額

■解約手数料

なし

【保有期間中】(信託財産から間接的にご負担いただきます)

■信託報酬

純資産総額に対して年率1.9635%(税抜1.87%)

■その他の費用等

(1) 監査報酬、目論見書や運用報告書等の作成費用などの諸費用[純資産総額に対し上限年率0.105%(税込)]

(2) 有価証券売買時の売買委託手数料

(ファンドの運用による取引量に応じて異なりますので、事前に料率や上限額等を表示することができません。)

※課税上の取扱いについては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・M&S・ジャパン・ファンド

愛称:華咲く中小型

マンスリーレポート

ファンドの関係法人について

●委託会社 **スパークス・アセット・マネジメント株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号
(加入協会) (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会 日本証券業協会
信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。

●受託会社 **住友信託銀行株式会社**

委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス
信託銀行株式会社に委託を行います。

●販売会社 **下記一覧参照**

ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの
取扱等を行います。

販売会社	登録番号	加入協会					
		日本証券 業協会	(社)投資信 託協会	(社)日本証 券投資顧 問業協会	(社)金融先 物取引業 協会	一般社団法 人第二種金 融商品取引 業協会	
SMBC日興証券株式会社 (投信スーパーセンター)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○		○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント 株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第346号	○	○	○		
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号	○				
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○			○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○			○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○				
住友信託銀行株式会社 ※	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第5号	○		○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○			○	

※ 住友信託銀行株式会社では、2010年12月13日以降、新規の買付を停止しており、換金のみのお受け取りとなります。
(けいぞく(再投資)コースの分配金再投資は引き続き行われます。)

【お問い合わせ先】スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <http://www.sparx.co.jp/> 電話番号:03-5435-8200(受付時間:営業日9:00~17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問い合わせは販売会社まで。